

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	備蓄物資等整備事業	会計名称	一般会計		担当課	危機管理課	
		予算科目	2 款 1 項 13 目	事業番号	483	所属長名	新田亮仙
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	神東利明	
法令根拠等	伊予市地域防災計画				実施期間	【開始】	平成 25 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくり					【終了】	平成 33 年度(予定) <input type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	大規模災害の備えた物資や資機材の備蓄と防災倉庫の整備						
事業の対象	市民 (帰宅困難者の市外住民を含む)			事業の目的	水、食糧及び生活用品等災害備蓄の拡充強化並びに防災倉庫の整備を図る。		
事業の内容 (整備内容)	水、食糧、毛布、歯ブラシ、おむつ及び簡易トイレ等災害備蓄の拡充強化を図るとともに保管施設として防災備蓄倉庫を整備し、来るべき災害に備える。			昨年度の課題に対する具体的な改善策	平成30年度に施設完成。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	29年度実績	30年度予定	9月末の実績	30年度実績
直接事業費	23,797	22,962	578	0	0	23,540	飲料水	リットル	2115	2400		2408
財源内訳												
国庫支出金		0	0	0	0	0	主食(アルファ米等)	食	6495	7400		7309
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債	21,100	19,200	0	0	0	0	副食(レトルト食品等)	食	8267	7600		7572
その他		0	0	0	0	0						
一般財源	2,697	3,762	578	0	0	23,540	毛布	枚	0	800		859
職員の人工(にんく)数	0.03	0.03				0.03						
1人工当たりの人件費単価	8,017	7,982				7,982						
※ 直接事業費+人件費	24,038	23,201				23,779						
主な実施主体	直接実施		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)			—						
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	5年間の合計		
					3,709	3,500	3,000	3,000		13,209		
成果指標	指標	「飲料水備蓄量/飲料水備蓄目標量25250×100」を成果指標とする。なお、参考としてアルファ米等主食類備蓄量及び缶詰等副食類備蓄量はともに9000食とする。			単位	区分年度	29年度	30年度	31年度	目標	33年度	
	指標設定の考え方	飲料水及び食料の備蓄目標は、「愛媛県地震被害想定調査結果」に基づき、伊予市が定めた「備蓄物資整備計画」によるものとする			⇒	目標	79.5	88.9	100	100		
	指標で表せない効果					実績	70.4	95.3				

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		本庁地区防災備蓄倉庫がH30年度中に関係したことにより管理規則を作成する必要がある。来年度の早い時期に作成したい。									
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5 5 5	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	サバの不漁、サバ缶人気によりサバ缶の購入が難しいという事態があった。保存年限も考え、レトルトの購入を検討したところ、うまくいった。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5 5 5	5					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5 5 5	5					
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5 5 5	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S			
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5 5 5	5					
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5 5 5	5					
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5 5 5	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S				
		コスト効率	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5 5 5	5						
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5 5 5	5						
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5 5 5	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S	事業の方向性 所屬長の課題認識	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 大規模災害発生時の被災住民等の生活を確保するための食料及び生活必需品等の備蓄は市の責務であり、併せて、災害時であっても業務を継続できるよう職員用のトイレ・防寒用品等の備蓄は不可欠なものである。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5 5 5	5					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5 5 5	5					
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4 4 4	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A				
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4 4 4	4						
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4 4 4	4						
効率性		手段の最適性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	3 3 3	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A				
		コスト効率	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	3 3 3	3						
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4 4 4	4						

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>		

今後の方向性 (ACTION)

の経営最終者判断議	事業の方向性	コメント欄	
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	右記の点を見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を行う。	
<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を行う。		